



## フレイル(虚弱)の予防について

### 問 支援事業について

本町では様々な講座が行われ、一定の成果を上げていると感じる。しかし、開催期間の空白があったり、開催頻度が少ないといった課題がある。そこで、「ひばりの里」を利用し、通年かつ回数を増やして、高齢者の交流と体力維持を目的とした施策を実施すべきと考えるが。

**健康福祉課長** 「ひばりの里」を有効活用し、フレイル予防や生活習慣病予防の教室などを開催し、介護予防の推進を図っていきます。

### 問 ヘルストレーニングルームの設置について

高齢者にとって運動は多くのメリットがあり、継続的な運動習慣の定着で健康寿命の延伸に繋がる。近隣の古河市では、市民の健康づくりを推進する場として、2つの施設にヘルストレーニングルームを設置している。本町においても、既存施設を活用して、同様の取組が可能か。

**健康福祉課長** 今後、ヘルストレーニングルームの設置も含め、高齢者の運動習慣定着のために効果的な事業を、周辺自治体や事業所を参考に検討していきたいと思います。

### 問 補聴器の購入補助について

加齢による聴力低下の方が増えているが、補聴器が高額のため購入を控える方が多くいる。聞こえの改善は、円滑なコミュニケーションを可能にし、社会参加の促進やフレイル予防にもつながる。そこで、高齢者が補聴器を購入しやすくなるよう、町として購入補助制度の創設を検討すべきと考えるが。

**健康福祉課長** 今後、周辺自治体の動向もみながら補聴器の購入補助を検討していきたいと考えています。



元気はつらつ倶楽部（ひばりの里）



## 高齢者の支援について

### 問 成年後見制度について

本町では、様々な施策が実施されているが、成年後見制度の事業はない。古河市では「成年後見サポートセンターこが」を運営している。本町でも、成年後見制度の支援事業を展開すべきと考えるが。

**健康福祉課長** 成年後見制度について周知を行うとともに、社会福祉協議会と連携・協力

しながら、必要な支援体制を構築していきます。

### 問 有償ボランティア(協力会員)の報酬額の引き上げについて

在宅福祉サービス運営事業は、高齢化が進むほど重要であり、協力会員の拡充が不可欠である。物価高騰や賃金上昇を考慮すると、報酬水準の

見直しが必要である。協力会員の安定確保に向けて、報酬額の引き上げを検討すべきと考えるが。

**健康福祉課長** 非営利的な有償によるサービスであり、現在の報酬額を勘案すると、引き上げは難しいと考えています。今後も協力会員の育成、積極的な勧誘を行い、事業の充実に努めていきます。